

## 7月臨時教育委員会議事録

- 1 開催日 平成30年7月18日(水)
- 2 会場 大井川庁舎 3階 大会議室
- 3 開会 午後1時30分
- 4 出席委員 佐藤美代志教育長  
大石智之委員(職務代理者)  
北川利男委員  
奥川重子委員  
山竹葉子委員
- 5 会議出席者 中野俊光事務局長  
近藤和人学校教育課長  
中野直幸主席指導主事  
朝倉満学校教育担当係長  
  
書記 日下部充教育総務課総務担当主幹
- 6 議事 別紙のとおり

佐藤教育長	<p>【午後 1 時 30 分開会】</p> <p>それでは、只今から 7 月の臨時教育委員会を開会いたします。本日の議事録署名人は、北川委員と山竹委員にお願いします。なお、本日の臨時教育委員会には傍聴希望がありましたので、これを認めます。</p> <p>それでは、早速議事に移らせていただきます。議第 7 号、平成 31 年度使用の小学校用図書の採択について、お願いします。教科書採択という公正さが求められる議案となりますので、慎重な御協議をお願いします。それでは、事務局から採択案に至る経緯を含めて、内容の説明をお願いします。</p>
近藤学校教育課長	<p>議案の 1 ページを御覧ください。議第 7 号、平成 31 年度使用の小学校用図書の採択については、志太地区教科用図書採択連絡協議会から同意を求める教科書の採択案の建議がありましたので、御協議をお願いするものであります。</p> <p>説明に入る前に、教科書採択について説明をさせていただきます。通常教科書採択は 4 年に 1 度実施となるため、本年度は、小学校の 9 教科 11 種目の採択について実施することになっています。ただし、2020 年度からの新学習指導要領実施に伴い、今回採択する小学校の教科書は 1 年だけ使用することになります。</p> <p>今回の教科書採択については、平成 29 年度検定において、新たな図書の申請がありませんでした。したがって、県の平成 31 年度用教科用図書の採択指導の基本方針にしたがい、基本的には平成 25 年度検定合格図書等の中から、採択替えを行うこととなります。そこで、採択替えを行うために、志太地区全小学校に、これまで使用してきた実績を踏まえた調査研究を実施しました。その結果、志太地区全 48 小学校から、9 教科 11 種目の教科書について、現在使用している検定教科書を使用することに問題はないという報告を受けました。ついては、この報告を基に、平成 31 年度の志太地区で使用する小学校の教科書については、現在使用している教科書を引き続き使用していくという採択替え案を報告させていただきます。なお、具体的には議案の 3 ページにある教科書となります。私からの説明は以上です。</p>
佐藤教育長	事務局からの説明が終わりました。質疑がある方は、発言をお願いします。
奥川委員	<p>1 年のみの使用ということですが、子どもたちにとっては大きな年月だと思いません。志太地区の全小学校から今までの実績を踏まえての採択している教科書への要望・改善点等を調べた結果、引き続き使用が良いのではないかと結論に至ったという説明を受けまして、それでよろしいのではないかと思います。2020 年からまた変わるということは、子どもたちにとっては負担が大きいものですし、議案の 3 ページに掲げられた教科書採択にあたっては本市でもいろいろ意見を申し上げた記憶がございますので、そういう意味でも志太地区採択案を本市でも採択したらどうかと思います。以上です。</p>

佐藤教育長	<p>ありがとうございました。志太地区採択案の方向でよろしいのではないかと ご意見ですが、他にありませんでしょうか。</p> <p>他にないようでしたら、これで質疑を終了いたします。事務局より志太地区の採 択案の説明をお願いします。</p>
近藤学校教育 課長	<p>それでは、議案3ページ「平成31年度使用小学校教科用図書(志太地区採択案)」 をご覧ください。</p> <p>国語・光村図書、書写・光村図書、社会・教育出版、地図・帝国書院、算数・学 校図書、理科・大日本図書、生活・教育出版、音楽・教育芸術社、図画工作・開隆 堂出版、家庭・開隆堂出版、保険・東京書籍、以上のようになっております。</p>
佐藤教育長	<p>それでは、議第7号について、お諮りします。「平成31年度使用の小学校用図書 の採択については、志太地区教科用図書採択連絡協議会の採択案に同意する」とし て、御異議はございませんか。</p>
全委員	<p>異議なし</p>
佐藤教育長	<p>同意することが決議されましたので、当委員会は志太地区教科用図書採択連絡協 議会会長へ同意書を提出することにいたします。事務局は、同意書を提出してくだ さい。</p> <p>次に、議第8号 平成31～32年度使用の中学校「特別の教科道徳」用図書の採 択について、事務局から採択案に至る経緯を含めて、内容の説明をお願いします。</p>
近藤学校教育 課長	<p>議案の4ページを御覧ください。</p> <p>議第8号 平成31～32年度使用の中学校「特別の教科道徳」用図書の採択につ いては、志太地区教科用図書採択連絡協議会から同意を求める教科書の採択案の建 議がありましたので、御協議をお願いするものであります。</p> <p>それでは、中学校の「特別の教科 道徳」について「志太地区教科用図書採択連 絡協議会」の採択案をご説明させていただきます。</p> <p>「志太地区教科用図書採択連絡協議会」は、教科用図書の採択について必要な調 査を行うため、「志太地区教科書研究委員会」を設置しており、焼津市、藤枝市、 島田市の3地区から総勢4名の研究委員が委嘱を受けました。研究委員は、終日4 日間という膨大な時間をかけて、すべての教科書について、調査・研究を行いまし た。研究は、県の教科用図書専門委員会や各学校からの調査研究報告書などを十分 に参考にして進められました。その研究結果は、「志太地区教科用図書採択連絡協 議会」に報告され、採択協議会での協議を経て、「志太地区教科用図書採択連絡協 議会」の採択案として、ここに提示されております。その調査結果が、お手元にお 配りしてある採択案がございます。</p>

<p>近藤学校教育 課長</p>	<p>それでは、「特別の教科 道徳」中学校の採択についてご説明申し上げます。志太地区教科書研究委員会では、次の3点に沿って研究調査をいたしました。</p> <p>1 内容が生徒の特性、地域の事情等を考慮し、多様な教材が活用されているか。 2 組織・配列・分量について適切か。3 生徒の発達段階への配慮がなされているか。</p> <p>では、最初に「東書 新しい道徳」です。1について、教材のバランスがよく、生徒が問題意識を持って多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりする教材が多くあります。また、スポーツや芸能など生徒の興味・関心を高める教材も掲載しています。各教材の最後には、「考えてみよう」が設けられており、生徒が対話を通して学びを深めることができる発問が明示されています。志太地区にとって関わりの深い「第五福竜丸」を扱った教材が3年生にあり、生徒にとって身近な話題で道徳的価値の追求ができます。また、2年生には、阪神・淡路大震災を扱った教材があり、本県が進めている防災教育にも配慮がなされています。2について、本教材30本と付録7本で、4つの内容項目がバランスよく配置され、情報化への対応やいじめについても多様な指導方法が工夫できるつくりとなっています。巻末にホワイトボード用のシートや心情円などの生徒の考えを深める工夫があり、議論が活発化することが期待できます。3について、各学年の発達段階に応じた「話し合いの手引き」や「道徳の授業はこんな授業に」といった内容が巻頭に示されていて、生徒の興味関心を引くのみでなく、道徳科の目標や道徳科の特質を踏まえて道徳の授業でどんなことを考えるのかがはっきり示されています。また、教科書の横幅も広く、写真やイラストが充実しています。反面、教科書を広げたとき、生徒の机が狭くなるデメリットがあります。</p> <p>次に、「学図 輝け 未来」です。1について、スポーツや科学・芸術の分野の教材があり、生徒が自分の生活と比較しながら教材に触れ、考えが深めることができるようになっていきます。また、カラフルな漫画などを取り入れて、生徒の興味関心を引きながら、友情や信頼などの道徳的価値の理解が深められる教材構成になっています。各教材の最後に「学びに向かうために」が設けられ、生徒の心を揺さぶる発問が工夫されています。また、各教材の最初には、「命を大切にする」や「安全確保」などのポイントのマークがあるため、価値理解がしやすくなっています。東日本大震災を扱った教材があり、防災教育にも配慮がなされています。2について、本教材35本が掲載されており、学習指導要領で示されている内容項目が適切に網羅されています。反面、分量が多い教材が多く、読み取りに時間がかかってしまい、個人で考えたり、友達と話し合ったりする（議論する）時間の確保が難しくなることが懸念されます。情報モラルやいじめの問題の教材が充実していて、話し合いが深まる工夫がなされています。巻末で、教材ごとの学びの記録、1年間の振り返りに加え、保護者へのページが掲載されており、道徳の時間に何を学ぶのかが簡潔に示され、家庭とのつながりを意識したつくりとなっています。3について、各学年の発達の段階に応じた学級づくりを意識した巻頭ページがあります。教科書の横幅が広いとともに、ページ数も他社より多くなっています。大きな写真やイラ</p>
----------------------	---

<p>近藤学校教育 課長</p>	<p>ストが掲載され、文字の大きさや注釈も充実しています。反面、生徒の机の幅に対しては大きすぎ、使いにくさを感じることもあると思います。</p> <p>つぎに「教出 とびだそう未来へ」です。1について、教材は各分野（生命の尊厳、社会参画など）がバランスよく取り上げられています。イチローなどの著名人を取り上げ、生徒の興味・関心を高め、深い学びができる教材が多くあります。日本の伝統文化を扱った教材各学年に掲載され、充実しています。また、生徒が親しみやすく、道徳的価値を自分事として考え、生徒同士で対話を深めることができる教材が充実しています。「富士山」を扱った教材が1年生に、また、錦織兵三郎（にしごりひょうざぶろう）「サッカーの種をまく」を扱った教材が2年生に掲載されている。各教材の最後に「学びの道しるべ」が設けられており、発問に工夫があり、価値理解から人間理解・他者理解へと深められるよう工夫されています。反面、多様な考えを引き出す発問であるかについては、もの足りなさを感じる部分があります。2について、教材の分量は適切なものが多く、生徒が考えを深め、生徒同士の対話を充実させる時間の確保が可能です。巻末で、学びの記録が設けられていて、学期ごとや一年間の成長の跡を振り返りやすくなっています。保護者の記載ページがあり、家庭との連携にも配慮がなされています。3について、各学年の発達段階に応じたオリエンテーションに工夫があり、それぞれの学年で何をどのように学ぶかが明確になっています。教科書の大きさや厚さは生徒にとって適度なものとなっています。スペースが限られている中で、文字の大きさも適切で読みやすくなっています。反面、「教材があり発問がある」というパターンが一つしかなく、工夫されたページが少ないように思います。</p> <p>つぎに「光村 きみがいちばんひかるとき」です。1について、教材としては、様々な地域・場面・芸術やスポーツなど多岐にわたる分野を取り上げています。また、さかなくんやアンジェラ・アキなど生徒にとって親しみのある人物が掲載されていることで、興味関心を引く教材となっています。現代的な課題を題材にしたり、身近な出来事を題材にしたりして、生徒の心を揺さぶる教材が多く、生徒が主体的に対話を深めることができる教材が多く掲載されています。「富士山」を扱った教材や鈴木梅太郎氏の資料（3年）が掲載されている。各教科の最後に「学びのテーマ、考える観点、見方を変えて、つなげてみよう」が設けられており、ここの発問を参考にすれば、多様な指導方法が工夫できるようになっています。2について、教材の構成が見やすく、生徒考える時間や議論する時間が確保しやすい分量になっています。情報モラルやいじめについても幅広いアプローチができるように工夫されています。巻末では、学びの記録が切り取れるようになっていて、学級に掲示すれば、他の生徒の考え方を学ぶことができるようになっています。3について、巻頭ページに各学年の発達段階に応じた詩が掲載されていて、生徒が考えを広げていくオリエンテーションができるようになっています。教科書の大きさや厚さは適切で、スペースが限られている中で、工夫されています。また、イラストは、生徒の思考を妨げないものが多くあります。反面、文字が小さいことが気になります。</p>
----------------------	--

<p>近藤学校教育 課長</p>	<p>つぎに「日文 あすを生きる」です。1について、各教材のはじめに主題と中心人物が示されているため、どのようなことを学ぶのか、共通の視点をもって読み進めることができます。2年生では、いじめについて、同じ出来事が二人の登場人物の視点で書かれており、立場によって見方が違うことがわかるように工夫されています。このように登場人物の立場がはっきり示されているので、1つの出来事について、多面的・多角的に考えられる教材があります。巻頭にある「この教科書で学ぶテーマ」では、道徳科でより広く、深く考え合うテーマが示されています。各教材の最後にある「考えてみよう」「自分に+1」の問いは、「道徳ノート」に書き込むことができ、友達の意見を記入する欄があるため、自分の考えを深めるとともに、多面的・多角的に考えることができるつくりとなっています。反面、「道徳ノート」には授業をする教師の考えた発問を記入する欄がなく、毎時間「道徳ノート」通りの展開をするしかなく、多様な指導方法を工夫しにくくなっています。1年では地域を知る「富士山」や防災教育に配慮した「東日本大震災」を扱った教材も掲載されています。2について、情報モラルについては、身近な漫画やスマホの画面などを教材としているため、生徒が興味を持って学習に取り組み、自身の日常生活を振り返り、自己を見つめることができるようになっている。3について、学年ごとのテーマに軽重があります。1年では「いじめと向き合う」、2年では、「働くこと（勤労）」、3年では、「伝統文化」と「国際理解」が充実しており、発達段階に応じて、自分やまわりのことから地域・社会へ視野を広げることができるようつくりになっています。巻末には合唱の歌詞が掲載されており、生徒の思いが広がるようになっています。</p> <p>つぎは「学研 明日への扉」です。1について、現在活躍しているスポーツ選手を扱った教材があり、生徒に親しみのある教材を多く使用しています。それぞれの人物の生き方から、喜びや勇気、人間としての弱さを考えさせる内容となっています。反面、発問が1つしかないため、授業者が教材研究を深くし、ねらいに迫る発問を工夫する必要があります。2について、「クローズアップ」や「クローズアップ プラス」では、教材と関連する情報を掲載することで、生徒一人一人が生き方や考え方の選択肢を増やすことができるようになっています。「深めよう」のページでは、話し合いのきっかけが提案されています。巻頭の「マイプロフィール」や巻末「心の四季」には、生徒の心の移り変わりを書き留めることができ、学期ごとや1年間の振り返りを通して、自分の成長を感じることができるよう工夫されています。情報モラルの教材では、ラインの画面や4コマ漫画が掲載され、生徒が身近な問題として考えられるよう工夫されています。3について、各教材の最初は教材名のみ表示されているため、教材文を読むときに先入観が入りにくく、特定の価値を押しつけることなく授業が展開できるようになっています。教科書の本体がA4サイズのため文字情報や視覚情報がとらえやすく、ゆったりとした紙面構成となっています。</p> <p>つぎは「廣済堂あかつき 自分を見つめる（1年） 自分を考える（2年） 自</p>
----------------------	---

<p>近藤学校教育 課長</p>	<p>分をのぼす（3年）」です。1について、教材として、読み物の質がよく、生徒がじっくり考えられる内容のものが多くあります。その反面、以前から使われている教材が多く、いじめ、情報モラル等、今日的課題のものは弱い印象を受けます。各教材の最後に「考える・話し合う」が設けられており、生徒が考えを広げたり深めたりすることができるよう発問が示されています。2年生では、「三浦知良」が地域の著名人を扱った教材として掲載されていて、生徒には身近な話題であると思います。2について、教材の最後に掲載されている偉人や著名人の言葉は、生徒の心に残るものであり、道徳的価値についてさらなる理解を促したり、生き方について考えを深めたりできます。「道徳ノート」を利用することで、思考の幅が広がるが、「学習の手がかり」と「道徳ノート」の記入を合わせると分量が多く、1時間で完結することが難しくなると考えます。3について、「道徳ノート」の巻末に『心のしおり』があり、生徒が学びを振り返り、心の状態や成長を実感したり、課題を見つけたりすることができると思います。教科書はワイド型のAB版を採用しているため、紙面にゆとりがあり、読みやすくなっています。文字のポイントも学年によって変えるなど工夫がみられます。</p> <p>つぎに「日科 生き方から学ぶ（1年） 生き方を見つめる（2年） 生き方を創造する（3年）」です。1について、教材は、中学生の身近に起こりそうな出来事が多く取り上げられています。そのため、生徒が親近感や共感をもち、自分事として考えられる内容となっています。また、付録の教材として「込められた思い」「届けたい言葉」などが充実しています。巻頭に「道徳科って何を学ぶの？」と「心の成長を目指して」を通して、4つの内容項目を押さえ、これからどんなことを学ぶのかをイメージできるように構成されています。3年「富士山を誇る」では富士山を扱っており、地域について深く学べる教材です。また、「東日本大震災」を扱った教材があり、防災教育への配慮がみられます。「考え、話し合ってみよう そして 深めよう」は、発問がシンプルで、どの生徒でも自分の考えをもつことができます。反面、工夫が足りないため、話し合いの深まりが期待できないと懸念されます。2について、目次は、内容項目ごとの配列であり、テーマはわかりやすいと思います。反面、扱う項目を考慮する必要があり、年間指導計画を組み直す必要がある。1年間の道徳の授業や心の成長を振り返るシートが巻末についており、自分の成長を記録することができます。3について、教科書名が学年毎に違い、表紙の写真が印象的です。同じ主人公（リョウとマキ）のストーリーが3年間続いていきます。リョウとマキと一緒に成長していくことで、悩みや葛藤を自分事のように共有することができます。</p> <p>選定についての基本的な考え方を述べます。今回の教科書選定においては、学習指導要領で「生徒の発達の段階や特性、地域の事情等を考慮し、多様な教材の活用に努めること。」と示されており、志太地区の生徒にとって身近で、柔軟な発想ができ、自己を見つめ、多面的・多角的に考え、人間としての生き方を深め、道徳性を養っていくことができる教科書を選定することとされました。また、生徒たちの</p>
----------------------	--

近藤学校教育 課長	<p>発達段階への配慮がなされ、いじめ問題や情報モラルなどはもちろんのこと多様な教材が配列され、問題解決的な学習や体験的な学習など多様な指導方法が工夫できる教科書であること、文字や用語、挿絵などが生徒にとって親しみやすいこと、振り返りを通して、生徒が自分の成長を評価できることが判断基準とされました。検討の結果、志太地区で使用する最も適した教科書は、「光村図書 中学道徳 きみがいちばんひかるとき」であるという結果になったことが報告されました。以下の視点により調査研究が行われたので報告します。</p> <p>1 内容について、(1)「いくつかの道徳的価値を含んだねらいを達成するために適切な内容か。」についてです。生徒にとって身近な出来事だけにとどまらず、生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題、いじめなどのさまざまな題材を扱っており、生徒が問題意識を持って多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするような教材が充実しています。また同時に、各教材とも特定の価値観だけを扱ったものでなく、特定の見方や考え方に偏ったものにもなっていません。各教材の最後の「考える視点」では、登場人物を通して、自己の内面を深く見つめることができたり、生徒同士の対話を生み出したりするような発問が用意されています。(2)「ねらいを達成するために、教科書構成上どのような工夫がされているか。」についてです。年間 35 時間の授業時間に対して、34 個の読み物教材と 2 個の読み物資料が掲載されています。それらが時期に応じた内容項目でバランスよく配置されています。また、各教材の最後には、「学びのテーマ、考える視点、見方を変えて、つなげよう」が 1 ページ使って設けられています。「学びのテーマ」により本時のテーマが生徒にとって明確となるとともに「考える視点」では登場人物と自分との関わりの中で道徳的価値を理解したり自己を見つめ直したりするような発問が用意されています。「私の気づき」では、生徒が自由に書けるスペースが十分確保されており、多面的・多角的に考えをもつことができるよう工夫されています。さらに、年度当初のオリエンテーション資料では、「対話」で広がる道徳科の授業の方向性を明確に打ち出しています。</p> <p>(3)「評価に関して、生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かせる工夫がなされているか。」についてです。各教材の最後にあるページで生徒の学習状況を確認できるとともに、巻末に「学びの記録」が配置されており、生徒自身も 4 シーズンに分けて自らの 1 年間の道徳科の授業を振り返り自己を評価することができます。教師の評価として、「学びの記録」によって、生徒の学習状況や成長の過程を把握し、指導につなげながら評価していくことができます。</p> <p>2 組織・配列・分量について、(1)「生徒が系統的・発展的・主体的に学習できるように教材配列がされているか。」についてです。各教材の最後にある「学びのテーマ」のページには、「見方を変えて」のコーナーがあり、多様な授業展開が工夫できるようになっています。また、「つなげよう」のコーナーや巻末の「先生方へ」では他教科や他領域との関連性が示されており、道徳科の授業が教育活動全体</p>
--------------	---



<p>近藤学校教育課長</p>	<p>を通じて行われる道徳教育の要としての位置づけが意識されています。(2)「生徒の発達段階や特性、地域の事情等を考慮した、多様な教材が含まれているか。」についてです。巻頭ページで各学年の発達段階に応じて詩が配置されています。また、シーズン1では、1年「自ら考えて」2年自覚をもって」3年「志をもって」が冒頭に記載されています。これらは、年度当初のオリエンテーションで有効です。また、学年末に向かて、1年「仲間と共に」2年「社会の一員として」3年「未来へ」と、段階的により広い視野を求める教材が配列されています。また、1・2年生に世界遺産「富士山」、3年生には郷土の偉人鈴木梅太郎氏や、東日本大震災や奥尻島の津波の震災に関わるものなど、地域に関連した教材が配置されており、志太地区の生徒に適切であります。</p> <p>3生徒の興味関心や多様な学習方法への配慮について、(1)「文字、用語、さし絵、図表等は、適切でわかりやすく生徒の興味関心をひくよう配慮されているか。」についてです。読み物教材の中の手紙や引用など、枠囲みや色囲みを使い、生徒に本文との違いが一目でわかるように工夫されています。教材に添えられたイラストについて、色調が落ち着いており、また場面を具体的に描き過ぎていないため、親しみやすさの中にも生徒の思考の自由を妨げないような配慮がされています。紙質について、他教科の教科書同様に反射を押さえたものを使用しているため、生徒の目の負担を軽減しています。(2)「問題解決的学習や体験的学習など多様な学習方法を取り入れやすい構成になっているか。」についてです。各学年とも「いじめ」「環境」「共生」「国際理解」「社会参画」「情報モラル」「人間関係づくり」の7つのテーマのコラムが用意されており、教材と組み合わせることで学習することにより、生徒がよりよい生き方について深く考え、道徳的価値を自覚できるような構成になっています。また、このコラムを利用しながら、読み物教材と違った視点での問題解決的学習や体験的学習が可能となります。</p> <p>以上の理由により、「光村 中学道徳 きみがいちばんひかるとき」が志太地区の中学生に最もふさわしい教科書と判断いたしました。以上で、私からの説明を終わります。</p>
<p>佐藤教育長</p>	<p>事務局からの説明は終わりました。質疑のある方は発言をお願いします。各社の説明がなされた後、最終的に「光村」という提案がされましたけれども、それぞれの会社の道徳の本につきましての感想等、あるいは「光村」についての感想等よろしくをお願いします。</p>
<p>大石委員</p>	<p>私自身、学生のころ国語が苦手だったもので、国語の授業が案外憂鬱だった記憶があります。今、道徳の本を見ても読み物が多い、文章を読んで読解力がないとなかなか入り込めない授業になるのかなという印象なんですけども、国語とは違う構成で作られた教科書になったら、嬉しいなと思っていたことで、「光村」を選んだ理由の中にもそういうところの配慮がなされているところがあって非常に良いかな</p>

	<p>と思いましたが。もう一つ道徳というものは、どちらかという価値観を押し付けてしまう危険性も非常に気にしているところなんですけども、同じこともいろいろな見方をすると捉え方が違うんだよということを教えなきゃいけないし、みんなで考えなければいけないなというところで、特定の価値観に偏っていない配慮がなされているという説明を受けたので良い教科書なのかなと思いましたが。ただ、選考理由の中で良いところはわかったんですが、「光村図書」の中で他の教科書よりも劣っているというか足りない部分があれば教えていただきたい。説明の中で文字が小さいということがありましたが、それ以外に内容の部分であれば教えていただきたいと思います。</p>
<p>近藤学校教育課長</p>	<p>ありがとうございます。一番の違いは文字が小さいということになります。あと特に劣っていることについては、逆に他社で優れているところ、工夫しているところを取り入れればもっといいところになるのかなと思います。今回、初めて出てきているものですから、今後いろいろなものを工夫して取り入れていくのかなと思います。志太地区の道徳教育は以前から充実して行われてきているので、読み物にしても単に質が良いだけでなく、それを基にいろいろな価値観を出し合う、対話が生まれるというところが「光村」が良いという評価になっていると思います。的確な答えでなくて申し訳ありません。</p>
<p>奥川委員</p>	<p>各社様々でいろんな良さがあると思いますが、小学校で扱った教科書会社を扱うというのは、子どもたちの考え方が練りやすいという意味での良さはあるだろうなと思います。全部の教科書を見せていただいて、道徳を真剣に考えてくださっているなと思いました。道徳を特別の教科として、教科書を使うという意図というのは良かったなという感想です。教科書の中に道徳ノートがついているのがありましたが、足跡を残すという意味では大変大事だと思いますが、道徳ノートに書いておきたいということになって、肝心の内容が削られる心配があったり、後で書いておくということになったら道徳が嫌いになっちゃうかなという思いもあったりして、道徳ノートという扱いは検討した方がいいのかな、またこういうものの価値があるのであれば、事業者が一枚のプリントにまとめることもいいのではないのかなと、教科書を見させていただいて考えました。そういう視点からすると「光村」の学びのテーマとか簡単ですがありますので、これは負担にならないし、足跡を残す・考え方を残すという意味では適量かなと考えました。道徳というのは、それを勉強した時、その後でもう一度教科書を見た時に自分の成長を見つけたり、自分の考えの変遷を見出したりすることが出来るものですから、振り返った時に簡単に見られる自分の考えの足跡があるということは良いなと私の感想です。</p> <p>もう一点良いですか。紙質の説明がありました。内容は勿論ですが、いろんな視点から見ると、こういうことにも配慮がある会社っていうのは良いのではないかなと感想として思いました。</p>

佐藤教育長	<p>小学校も「光村」で、同じ会社の本ということで学習しやすいのではないかと うご意見がありました。</p>
北川委員	<p>物事には両面があって、100%良い、100%悪いということはないと思います。そ ういうことだから人それぞれ考え方が違ってくる。そういう意味で多様な考え方が あるということを教えることがすごい大事で、上から押し付けるのではなくて、自 分の頭で何がより大事か的確に判断することが求められていると思います。たくさ ん出版社がありますが、全体を通して思ったのが、大石委員からもお話しがありま したが、読み物が多いという印象を持ちました。私が良いと思ったのが「光村」と 「東書」で、「東書」が良いと思ったのは田中正造を取り上げているところです。 いつの時代でも取り上げてほしい素晴らしい人物だと思います。ただ、説明にもあ りましたが、問いかけが少ないということがやや落ちるかなという気がしました。 「光村」が気に入ったのは、シーズン1. 2. 3. 4の取り上げ方で「志をもって」 「他者と共に生きる社会を目ざして」「広い視野で」「未来を切り開く」そういう視 点で取り上げるということが他よりも優れているということを思いました。また、68 ページに世界の子どもたちの状況について書いてある中で、難民となった 子ども数、紛争や災害の影響を受ける地域に暮らす子ども数、これを取り上げ たことは素晴らしいと思う。多面的、多角的な考え方が出来る、主体的に考える、 そういう視点でいくと「光村」が良いかなと思う。全出版の中で「光村」が欠点 が少ないと思います。字が小さいというのは欠点にならないのかなと、そうすると「光 村」かなと私の頭の中で考えた結論です。</p>
佐藤教育長	<p>ありがとうございました。1年を4シーズンに分けて本が構成されているという お話しでした。確かに文字そのものは他社に比べて小ぶりですけど、決定的な小さ さではないという意見でありました。</p>
山竹委員	<p>私自身は大きい物より小さいほうは扱いやすいのかなという感覚が個人的には あります。いろんな読み物がある中で、時間内で読んで会話する、ディスカッショ ンする時間が持てるものが一番大なんだろうと思うので、そういう意味から 長さ的にまとめやすいという選択とそれぞれのテーマが明確にされているので取 り扱う先生方の方も計画が立てやすいのかなと思いました。以上です。</p>
佐藤教育長	<p>ありがとうございました。小学校が「光村」を使っているものですから、5年生・ 6年生が中学校に行った時に同じような系列の教科書の方が学習しやすいのかな ということでは思いました。また、先生方も、小中交流で行き来しているものでは 同じ会社の教科書でやる方が授業等作って行くときに扱いやすいのかなと感じ ました。勿論、どの会社も良いところがありますし、多少欠点があっても明らかに これはまずいという本はないわけですから、後は、「光村」なんなの教科書を使って</p>

奥川委員	<p>各学校の先生方がどんな風な道徳の授業をしているか、そちらの検証を各学校ではしっかりやってもらいたいと思います。本ですべてが決まるわけではないものですからその辺をお願いしたいと思います。他に全体を通して何かありますでしょうか。</p> <p>「光村」の題が「きみが いちばん ひかるとき」なんですよ。並べられている時に一番目をひきました。子どもたちが道徳の教科書をもらった時に、一番最初に目につくところ、表紙の言葉と絵というのは案外ばかにならないかなと思いますので、やわらかな絵と「きみが いちばん ひかるとき」というのは道徳として大事じゃないかなと感想を持ちました。</p>
佐藤教育長	<p>他の会社とは、写真とかちょっと違うなと感じました。その他ありますでしょうか。</p>
大石委員	<p>中学校で道徳が教科になって、道徳を教える先生はどの先生が教えるんですか。</p>
近藤学校教育課長	<p>担任です。</p>
佐藤教育長	<p>小学校も中学校も道徳については、担任がすべてやるということになっています。他にありますでしょうか。</p> <p>他にないようでしたら、これで質疑を終了いたします。</p> <p>それでは、議第8号についてお諮りします。「平成31～32年度使用の中学校「特別の教科道徳」用図書の採択については、志太地区教科用図書採択連絡協議会の採択案に同意する」ということで、御異議はございませんか。</p>
全委員	<p>異議なし</p>
佐藤教育長	<p>同意することが決議されましたので、当委員会は志太地区教科用図書採択連絡協議会長へ同意書を提出することにいたします。事務局はこの後、同意書を提出してください。</p> <p>以上で、本日、予定していた議事は、全て終了いたしましたので、7月臨時教育委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">【午後2時28分閉会】</p>